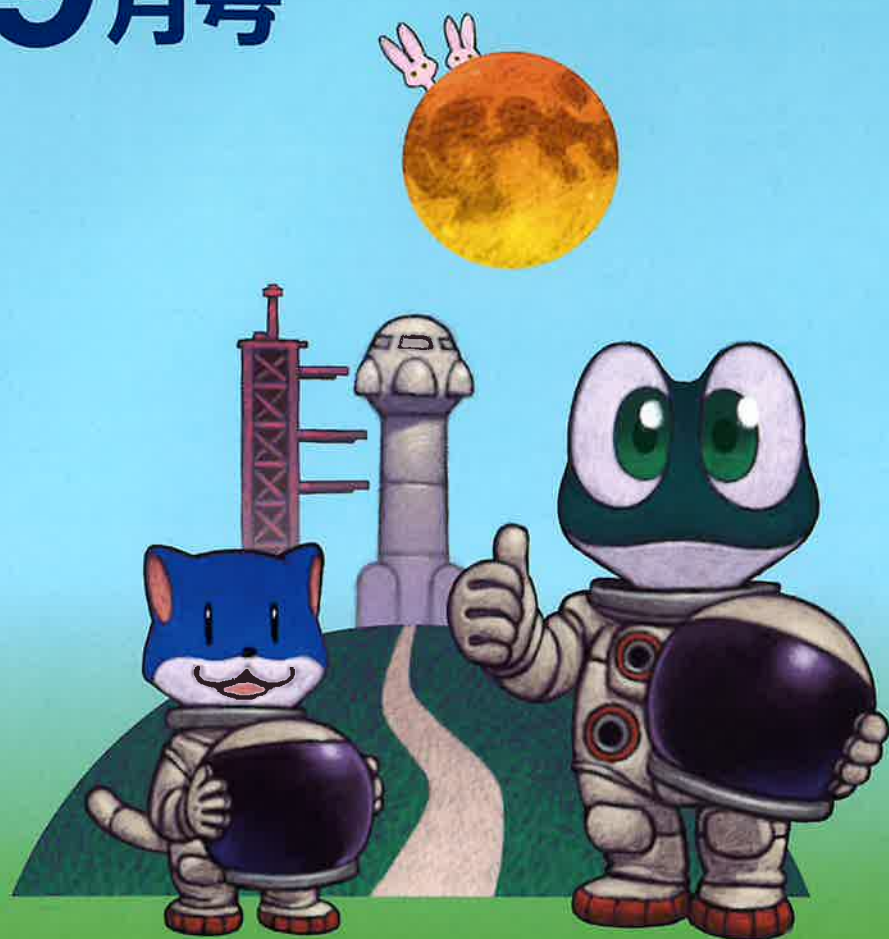


# 月刊 ケアマネジメント

## 9月号



特集

精神疾患のある  
利用者支援の新常識

特別企画

認知症の方と家族のための排泄ケア

連載

長尾和宏の「在宅介護を快適にする極意」  
精神疾患のある患者さんの希死念慮に  
どう向き合うか

新連載

性的マイノリティの老いを考える



# 最小のコストで全職員に学びの効果を 「オンライン研修」始めませんか

オンライン研修のパイオニアであるお茶の水ケアサービス学院。提供している研修の中で、最もネット配信のメリットが発揮できるのが「介護技術動画マニュアル」だという。

お茶の水ケアサービス学院

神智淳さん



お茶の水ケアサービス学院長  
コ・メディカルアカデミー学院長  
老年学修士・日本健康医学会監事・福祉サービス第三者評価者

## OJT指導の標準化も視野に開発

介護や福祉現場で働く多様な職種を対象に、オンラインを活用した研修を提供しているお茶の水ケアサービス学院（東京都千代田区、神智淳代表取締役）の、柱ともいえる研修が「フォローアップ研修」と「介護技術動画マニュアル」の2つのシリーズだ。どちらもパソコンの専門知識がなくても簡単に視聴できること、いつでもどこでも、何度でも何人でも視聴できるメリットは共通なのだが、神さんが「ネット配信の強みを最大限活かせる」と強調するのは、介護技術動画マニュアルだ。

「介護事業所では、介護技術の向上及び統一はとても重要な課題です。紙や動画でマニュアルを作成しているところも多いでしょう。しかし、苦勞して作ったのに十分活用されていなかったり、思うように効果が得られていないと感じている現場も少なくないようです」

紙媒体と動画のマニュアルを並べれば、動きが見えて情報量が多い動画のほうが視覚的に介護技術の手法や手順を理解しやすく、イメージもつかみやすいと言えるだろう。だが動画でも活用できていないのは、再生に手間がかかることに加え、動画だと情報量が多すぎることによって指導内容を端的に伝えられないことが根底にあると、神さんは言う。

そこで、同社では介護技術動画マニュアルを開発するにあたり、指導上のポイント（注意すべきところやコツなど）を静止画にして動画から抜き出し、短いコメントを添えて指導マニュアルとして使えるようにした。

例として「座位移乗（移乗ボード使用）」の指導マニュアルを見てみると、「移乗ボードを挿入する側の利用者の座骨を軽く浮かせ、利用者の身体を車いす側へ向ける」という静止画の中に、矢印で身体の動きの向きが記されている。移乗ボードの置く角度も、どこに対して何度くらいを目安にすればいいのかが示されるためとても分かりやすい。動画と静止画のメリットを組み合わせた斬新なアイデアだ。

「ネット配信は、研修の指導者がいなくても、通信環境があれば空いた時間にどこからでも勉強できますが、教育は職員の自己責任で行うものではありません。やはり、知識や技術を自分のものにしていくためには、現場でも学びが継続すること、OJTでも活用できることが大切だと考えました」（神さん）

複数のOJT担当者がいても、動画マニュアルを活用することにより、指導方法や指導内容の統一が図れる。静止画は印刷して携帯もできるので、研修は受けたもののまだ自信がない新人スタッフなどにも好評だという。日々の現場実践を通じて全体のケアサービスの質が底上げできるのは、事業者にとってか

なり重要なポイントと言えるだろう。

## 「実践的であること」にとことんこだわり

介護技術動画マニュアルの特徴はこれだけではない。数ある介護技術はすべて専門家による最新の技術を複数の角度（上・横・正面）で撮影し、死角なく見られるようにした。

さらに、たとえば血圧測定では上腕式と手動式があり、ベッド上で測定する場合や座位を取って測る場合などがあるが、想定される場面をできる限り撮影。移乗についても「ベッドから移乗ボードを使って車いすへ」「車いすからトイレの便座へ」など、複数の動画で構成している。いずれも10分以内で見られるように編集されているのも「必要な技術」を「必要な時」に「必要な人」が確認できるのに大いに役立つだろう。

また、「マニュアルとしての利用だけでなく、現場での実践的な研修であることにとことんこだわりました」（神さん）と言うように、実際に介護技術が身に着いたかどうかを確認できる「点検表」も、介護技術ごとに作成している。

ひとつひとつの介護技術の手順（フロー）を用紙1枚にまとめたもので、前述の「座位移乗（移乗ボード使用）であれば、「ベッドの高さ調整」から（中略）「車いすのシートの対角線に対して、約90度の角度に移乗ボードを設置する」（中略）「大腿部を支えながら、移乗ボードを上へあげ、はずす」まで19項目の手技のフローを列挙。チェックすることで職員の介護技術を客観的に評価でき、職員が自己流の介護になるのを防いで統一した技術に修正することができる。

エクセルファイルをダウンロードすればそれぞれの事業所でカスタマイズできる。チェック項目を独自に増やしたりすることも可能だ。

「職員がたくさんいれば、研修に対して意欲的な人とそうでない人もいます。意欲的でない人にも参加してもらうには、手間がかからず良さを納得できるようにすることが重要です。わが社のネット配信研修はそれを両立できていると自信を持っています」（神さん）

介護技術動画マニュアルの配信は2020年から始めたが、すでに導入した介護事業所は1000事業所を超えている事実が何よりの裏付けだ。

## 介護技術動画マニュアルネット配信中

移乗◎全25タイトル 講師：加島 守  
「立ち上がりと着座の基本動作」（4分03秒）ほか

排泄◎全15タイトル 講師：牧野 美奈子  
「パッド及びオムツ全交換」（5分18秒）ほか

感染対策◎全5タイトル 講師：大瀧 厚子  
「マスクの装着」（2分52秒）ほか

○準備は簡単！パソコン・プロジェクター・スクリーン（白い壁やホワイトボード）を用意するだけ

○いつでもどこでも何度でも何人でも視聴可能

○研修コスト、OJT担当者・研修担当者の負担軽減

## 21年9月申し込みキャンペーン

年額132,000円（税込）

→年額限定価格34,100円（税込）



日本健康医学会賛助会員  
お茶の水ケアサービス学院

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-3 紀繁ビル1F

TEL. 03-3863-4000（代表） FAX. 03-3863-4006

E-mail info@o-careservice.com URL https://www.o-careservice.com

東京都指定調査機関 社団法人シルバーサービス振興会指定研修機関 公益財団法人東京都福祉保健財団指定研修機関

